

令和2年度 事業計画について

1. 生物多様性保全活動の推進

- ・いもり池のスイレン等外来生物（植物）の駆除活動の実施
 - *池の平温泉区協議会との連携によるスイレン除去活動（防草シートの湖底への貼り付け）
 - *環境省事業による根絶に向けた除去手法の調査
- ・笹ヶ峰高原におけるオオハンゴンソウの除去
- ・高山植物等の保護に向けた啓発活動の実施
 - *盗掘禁止看板の設置 笹ヶ峰、杉野沢、池の平、関、燕
- ・国立公園清掃協会による国立公園内の清掃活動

2. プロジェクトの推進

○火打山自然再生プロジェクト

- ・火打山ライチョウの個体群生態調査
- ・火打山協働環境保全活動（イネ科植物の除去）
- ・登山道沿いの竹（笹）類の繁茂対策
- ・高山帯における有害鳥獣の出没状況調査や捕獲活動、新規狩猟者の確保

○奥山、里山、里川の再生・保全プロジェクト

- ・妙高登山道におけるオオバコやいもり池周辺におけるヨシの除去
- ・自然保護団体（妙高里山保全クラブなど）を中心とした里山の整備
- ・ふる里の川普請（渋江川のクリーン活動、源流体験、水棲生物との接点復活等）
- ・国有林内でのニホンジカ行動把握調査（GPS装着）や捕獲技術講習会の実施

○自然体験プロジェクト

- ・自然体験プログラムの開催
（妙高高原ビジターセンター、国立妙高青少年自然の家、妙高市）
- ・妙高戸隠連山国立公園連絡協議会において検討中である「ロングトレイル」の設定
- ・信越五岳トレイルランニングレース、妙高野尻湖 **Sea to Summit** 等のスポーツイベントの開催
 - ※妙高野尻湖 **Sea to Summit** はコロナウィルスの影響により中止、信越五岳トレイルランニングレースは未定
- ・新たなトレッキングルートの開発に向けた調査
- ・宿泊型新保健指導「妙高高原健康ツアー」や妙高高原体育館を拠点とした「健康保養地プログラム」の普及・啓発
- ・市内小学6年生を対象とした環境教育の実施（国立公園、ライチョウなど自然環境）
 - ※地球温暖化教育とも連携

3. 情報発信機能の充実

- ・環境省による火打山登山道でのスマートフォンを活用した自然環境等の情報提供システムの運用による登山者への情報発信（火打やまナビ）
- ・環境会議公式ホームページによる妙高の自然環境の魅力や保護・保全活動、環境イベントに関する情報発信

4. 環境会議サポーター制度の運営

- ・環境会議が進める生物多様性保全活動や自然体験活動等を推進するためのボランティア活動団体
- ・本年度の活動については、「いもり池のスイレン除去」、「火打山ライチョウ生息地の保全（イネ科植物除去）」、「渋江川クリーン作戦」等
- ・サポーターのスキルアップに向けた講習会（座学、現地講習会）を開催
※新型コロナウイルスの影響により開催は未定
- ・会員全員に国立公園妙高オリジナルTシャツを配布するとともに活動に参加いただいた方には、活動用キャップを進呈

5. エコツーリズムの推進

○エコツーリズム推進に向けた取組

- ・エコツアーの開催
 - ◆妙高高原ビジターセンター
自然散策、登山、バードウォッチング、夏休み自然教室、雪上観察会 他
※ 現在、建て替え中であるが、「いもり池案内所」を設置し、各種プログラムを実施
 - ◆国立妙高青少年自然の家
GREAT JORNEY（統合型長期移動キャンプ）、妙高自然体験活動指導者養成研修、親子トレラン教室、NEALリーダー（自然体験活動指導者）養成研修
 - ◆市関連
国立公園妙高アウトドアフェスタ ※新型コロナウイルスの影響により中止

6. 自主財源確保に向けた取組

- ・環境会議募金（郵便振替）、かざして募金、ガバメントクラウドファンディングにより活動財源の確保を図る
- ・地域自然資産法に基づく、妙高山・火打山エリアにおける入域料の本格導入
※ 地域計画策定に向けて、4/14～5/13の間、パブリックコメント実施中
- ・登山口において携帯トイレ販売による自然環境保護と財源の確保